

平成21年度～23年度 北京日本人学校に派遣されて

東松山市立青鳥小学校

梶野 義明

1 はじめに

北京日本人学校は1976年設立で、中国にある日本人学校では最も古い歴史をもつ。小中併設校で、小学部は各学年3学級、中学部は2学級という規模。学年が上に上がれば上がるほど児童生徒数が少なくなる傾向がある。校内では小学生と中学生と一緒に生活しており、一つの職員室で小学部の教員と中学部の教員と一緒に仕事をしている。下校のバスその他の都合により、中学部でも部活はない。

所在地は北京市の朝陽区というにぎやかな地区の中の閑静な住宅地。決して広くはないが敷地内に運動場もある。ただしプールはないので、夏の水泳指導は貸切バスに乗り、一般の室内プールへ出かけて実施する。

給食はなく、子どもも教職員も毎日弁当を持参して食べる。

運動会は児童生徒が楽しみにしている一大イベントで盛大に行われるが、日本人会との共同開催なので、たくさんの記念品や食べ物・飲み物をもらうことができる。

2 北京日本人学校の特色

① 縦割り班活動

小学部の教員が中学部の教室に行って授業をすることやその逆は滅多にないが、縦割り班活動が清掃（毎日）・昼食会・昼休みの遊び・全校遠足・運動会などで日常的に活発に展開されているので、小学部の教員は中学部の生徒と、中学部の教員は小学部の児童と無理なく接している。

全校遠足は春に実施され、『頤和園（いわえん）』と『万里の長城』という世界遺産を1年おきに訪れる。目的地に着くと縦割り班ごとに分かれて散策し、遊んだり昼食をとったりする。



万里の長城への全校遠足



長城でレクリエーション

② リサイクル委員会

毎週水曜日にリサイクルボックスを設置し、ペットボトル・缶・新聞・雑誌などを回収している。その収益金は全額、『希望小学（3で後述）』が必要としている教材・教具の一部を購入し、寄付している。



希望小学での教材贈呈の様子

